

筑波大学附属病院 ベスト・プラクティス 成果発表会

参加申し込みは
E-メールで!

日時：2020年2月10日(月)
18:00~19:00

場所：筑波大学医学地区 臨床講義室D
(※筑波大学附属病院へご来院ください)

開会挨拶

筑波大学附属病院 病院長
原 晃

司会

ISO・医療業務支援部 副部長
古田 淳一

発表者	タイトル
高橋 彩 (手術部/看護部)	腹腔鏡下肝切除術における褥瘡予防へむけた取り組み
根本 清貴 (外来診療委員会)	外来会計待ち時間の短縮への取り組み
原 拓真 (脳神経外科)	静脈血栓塞栓症予防における病棟・医師連携システムの構築
中山 彩聖 (看護部)	脳卒中患者に対する再発予防への取り組み ～パンフレットを作成して～
河野 早由里 (薬剤部)	多職種による術前患者の休薬管理システムの構築
中澤 春菜 (看護部)	多職種における院内摂食嚥下チームによる嚥下内視鏡検査・嚥下回診の実施体制構築への取り組み

※発表内容は変更になる可能性があります

講評

筑波大学附属病院 副病院長
(ISO・医療業務支援部長)
玉岡 晃

<事務担当>
筑波大学附属病院 品質・安全管理課評価係

<お問合せ/申し込み>
TEL : 029-853-3905
E-mail : hsp-hyoka@un.tsukuba.ac.jp

ベスト・プラクティスとは?
PDCAサイクルを活用し、医療の質の改善の為に院内で実行された優秀な取り組みです。

令和元年度ベスト・プラクティス成果発表会のご案内

開催日時：2020年2月10日（月）18：00～19：00（開場17：45～）

場 所：筑波大学医学地区（筑波大学附属病院） 臨床講義室 D

（筑波大学附属病院へお越しください ※3.アクセス参照）

1. タイムスケジュール

司会：古田淳一（ISO・医療業務支援部副部長）

時間	内容	発表者
18：00	開会挨拶	原 晃 病院長
18：10	①腹腔鏡下肝切除術における褥瘡予防へむけた取り組み	高橋 彩
18：18	②外来会計待ち時間の短縮への取り組み	根本 清貴
18：26	③静脈血栓塞栓症予防における病棟・医師連携システムの構築	原 拓真
18：32	④脳卒中患者に対する再発予防への取り組み ～パンフレットを作成して～	中山 彩聖
18：38	⑤多職種による術前患者の休業管理システムの構築	河野 早由里
18：44	⑥多職種における院内摂食嚥下チームによる嚥下内視鏡検査・嚥下回診の実施体制構築への取り組み	中澤 春菜
18：50	講評	玉岡 晃 副病院長 (ISO・医療業務支援部長)

※発表内容は変更になる可能性があります。

2. 発表内容概要

<最優秀賞（2件）>

①腹腔鏡下肝切除術における褥瘡予防へむけた取り組み

手術中の体位は安全性を確保する都合上、生理的でないことが多く、こまめな体位変換も難しい。そのため局所への皮膚への圧迫により褥瘡が発生するリスクが生まれている。本院での褥瘡発生事例をもとに、体位固定方法を見直し、体位チェックリストを作成・運用した。チェックリスト導入後は、褥瘡の発生は見られていない。今後も症例を蓄積し、職員の教育と共に、さらに安全な体位固定の定型化に努めていく。

②外来会計待ち時間の短縮への取り組み

外来会計待ち時間については、「患者さんの声」にも日ごろから多くの意見が寄せられていた。解決に向けて、外来診療委員会が基点となって他部門に働きかけを行い、待ち時間が長期化する原因の洗い出しや、エクスプレスレーンの設置など対策を講じてきた。その結果、会計待ち時間は減少傾向にあり、患者さんからも待ち時間が短くなったという意見が見られるようになった。更なる会計待ち時間短縮に向けてこれからも改善を続けていく。

<優秀賞（4件）>

③静脈血栓塞栓症予防における病棟・医師連携システムの構築

昨年度より、脳神経外科患者の治療に関わる全ての職種間（医師、看護師、リハビリテーション部）で、静脈血栓塞栓症（VTE）の予防・発見・治療に関する情報を共有している。多職種による2重・3重のチェック体制を確立しVTEの見逃しを防ぐ事で、全職種一丸となってVTE対策に取り組めるようなシステムを構築した。今後は、VTE対策の当院におけるガイドライン作成も視野に活動を行っている。

④脳卒中患者に対する再発予防への取り組み～パンフレットを作成して～

高齢社会を迎えた現代では、脳卒中患者や脳卒中治療の需要が増加しており、脳卒中再発予防に向けた退院指導が重要視されている。今回本院では、統一化した退院指導の実施や脳卒中再発予防効果を高めることを目的とし、パンフレットを利用した退院指導を行った。今後は、生活習慣以外の再発要因にも視野を広げ、継続して患者の生活習慣の改善と、再発予防に努めていきたい。

⑤多職種による術前患者の休薬管理システムの構築

術前休止薬の休薬指示漏れ対策には、多職種の早期介入が重要な要因となる。病棟薬剤師が、手術日決定時点から医師・看護師と協働して行えるような術前患者の休薬管理システムを構築した。その結果、患者の内服状況を、薬剤師・医師・看護師でトリプルチェックを行うことが可能となった。過剰な負荷を各組織にかける事なく改善が可能のため、今後は病院全体へのシステム構築へ向けて更なる改善を進めていく。

⑥多職種における院内摂食嚥下チームによる嚥下内視鏡検査・嚥下回診の実施体制構築への取り組み

患者のQOLの向上に向け、多職種（リハビリテーション科・耳鼻咽喉科・歯科口腔外科医師、摂食・嚥下障害看護認定看護師、言語聴覚士(ST)、歯科衛生士等）が携わり、回診型の嚥下内視鏡検査(VE)を行った。それぞれの立場からの意見交換がタイムリーに行えるようになり、その後の経口摂取や訓練がスムーズに行えるようになった。病棟スタッフとの情報共有や、介入患者へのフォローアップを通じて病棟との連携を更に高める。

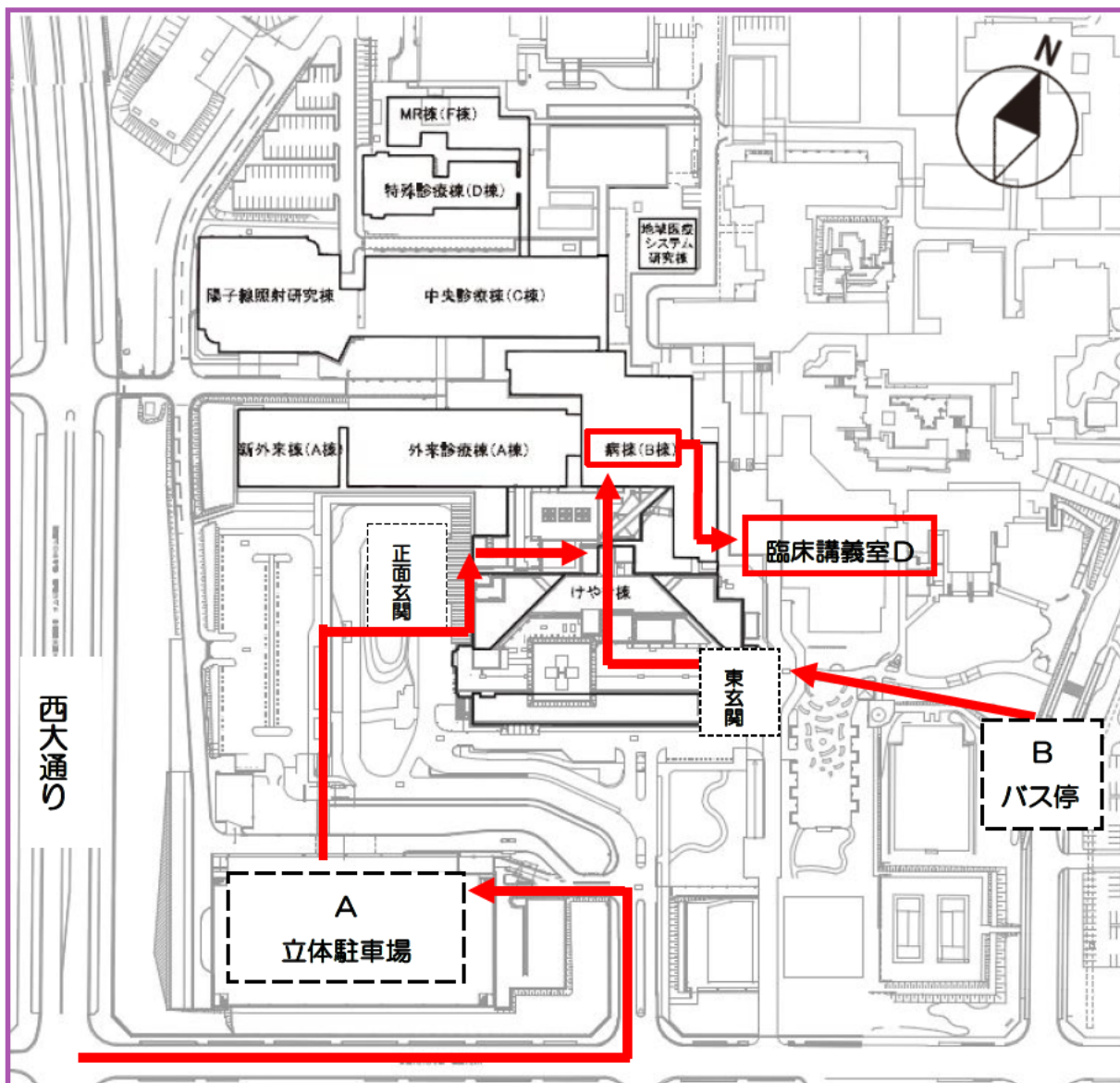
3. アクセス

筑波大学医学地区（筑波大学附属病院） 臨床講義室 D

※筑波大学附属病院へは、HP (<http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/>) を参照ください。

※地図アプリ等で検索する際は「筑波大学附属病院」と入力してください。

院内地図



A) お車でお越しの場合

- ①筑波大学附属病院患者駐車場（立体駐車場）に車を駐車してください
- ②その際、駐車券を必ずご持参ください（会場受付にて無料券をお渡しします）
- ③けやき棟正面玄関入口から、病棟（B棟）へお進みください
- ④エレベーターで3階に移動後、案内掲示に沿ってお進みください。

B) バスでお越しの場合

- ①「筑波大学病院入口」バス停にて下車
- ②けやき棟東玄関へお進みください
- ③けやき棟東玄関入口から、病棟（B棟）へお進みください
- ④以降、「お車でお越しの場合」の④と同様

4. ご来院の際の注意

お車でご来院の際は、患者駐車場をご利用いただき、駐車券を発表会場受付までお持ちください。駐車券と引き換えに駐車無料券をお渡しいたします。

5. お申込み

E-メールで受付登録を行っております。

氏名と所属をご記載の上、hsp-hyoka@un.tsukuba.ac.jpへご連絡ください。

6. お問い合わせ先

筑波大学附属病院 品質・安全管理課 評価係

担 当：石塚、細沼、中野

連絡先：029-853-3905、3748

E-mail：hsp-hyoka@un.tsukuba.ac.jp